

平成 29 年度

都市整備部の運営方針

<部の構成>

都市計画課、景観住宅整備課、連続立体交差推進室、施設整備室、開発指導室開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課

<担当事務>

- (1) 都市政策に関すること。
- (2) 景観に関すること。
- (3) 空家等の利活用に関すること。
- (4) 市街地再開発事業、土地区画整理事業等に関すること。
- (5) 京阪本線連続立体交差事業に関すること。
- (6) 市有建築物（学校園施設を除く。）の新設・改良等の設計・施行に関すること。
- (7) 開発事業等に係る協議及び指導に関すること。
- (8) 開発許可及び建築確認の審査に関すること。
- (9) 建築物の維持管理、防災等の指導に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	109名
再任用職員	6名
任期付職員	-名
非常勤職員	7名
合計	122名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

都市整備部では、少子高齢化、人口減少が進展するなか、あらゆる世代の人が暮らしやすく、持続可能な都市構造を実現するため、都市計画マスタープランと立地適正化計画に基づく計画的な都市づくりを進めています。

平成 29 年度は、人が集まるまちづくりとして、増加が予想される空き家等の有効活用に向けた取り組みを行うとともに、子育て世代の市内転入など、定住促進につながる住宅施策を推進します。

また、本市の中心市街地である枚方市駅周辺の賑わいの創出と魅力向上につながる（仮称）枚方市総合文化芸術センターの建設に向けた設計を進めるとともに、枚方市駅以南の都市交通の円滑化と市街地の一体化を図る京阪本線連続立体交差事業を推進し、あわせて、光善寺駅周辺地区の市街地再開発事業による新たなまちづくりに取り組みます。

さらに、安全・安心で快適に暮らせる都市づくりを進めるため、大地震時における住宅・建築物の被害軽減を図る木造住宅耐震化の促進や、市有建築物の計画的な改修、更新工事に取り組むとともに、開発行為や建築行為などの規制・誘導を行い良好なまちの形成をめざします。

2. 重点施策・事業

(1) 人が集まるまちづくりの取り組み	
目標	<p>空き家・空き地の適切な管理を促進し、その活用等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「枚方市空家等対策計画」を策定し、空き家等対策に取り組みます。</p> <p>また、市外に住む子育て世帯や若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居・近居するための住宅リフォームまたは住宅購入に対する助成や、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぐとともに、若年代の市内転入など定住促進を図ります。</p>
取り組み	<p>枚方市空家等対策計画については、枚方市空家等対策協議会の意見を聴きながら策定を進めるとともに、空き家等の有効活用に向けた取り組みを推進するため、空き家所有者に対し活用などについて意向調査を行い、所有者と自治会など地域の公共的課題の解決に取り組む団体等とのマッチングなどを行います。</p> <p>三世代家族・定住促進事業については、同居のための持ち家のリフォーム費用や同居・近居のための住宅取得費用に対して助成を行います。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの生活に合った住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：5,040 千円【空き家・空き地対策推進事業関連】、12,720 千円【三世代家族・定住促進事業関連】</p>

(2) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全	
目標	<p>平成 32 年度の完成をめざして(仮称)枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、その他計画的な公共施設の整備・保全に取り組みます。</p> <p>～(仮称)枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 

取り 組み	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備として、文化芸術の拠点施設となる(仮称)枚方市総合文化芸術センターの平成32年度完成に向け、実施設計や工事に必要な諸手続きを進めます。</p> <p>また、枚方保育所の建替えについては年内の完成をめざすとともに、香里ヶ丘図書館の建替えは、プロポーザル方式により設計事業者を選定のうえ、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備と一体的な設計に着手します。さらに、新児童発達支援センターの整備に向け設計を完了し、引き続き、建築工事に着手します。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p>
	<p>平成29年度当初予算：166,288千円【(仮称)枚方市総合文化芸術センター整備関連】、1,636,093千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>

(3) 京阪本線連続立体交差事業と新たなまちづくり	
目標	<p>枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約5.5キロメートル(うち枚方市域約3.4キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成40年度とし、平成31年度から工事に着手できるよう事業用地の取得に取り組んでいきます。あわせて、光善寺駅周辺については(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進めます。</p>
取り 組み	<p>できる限り早期に鉄道高架の工事に着手できるよう、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めます。また、駅前にふさわしいまちづくりを進めるため、(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合の活動に対する技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や用途地域など関連する都市計画の変更を行います。</p>
	<p>平成29年度当初予算：3,772,201千円</p>



(4) 木造住宅の耐震化の促進	
目標	<p>木造住宅の耐震化を促進し、大地震時の被害軽減に努めます。</p>
取り 組み	<p>簡易改修や部分改修を対象とした、新たな耐震補助制度の周知・活用を図ります。旧耐震基準により建てられた木造住宅が集積する地区においては、重点的に啓発等の取り組みを行います。</p>
	<p>平成29年度当初予算：62,875千円</p>

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社について、平成 26 年 10 月に策定した経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行います。
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」の老朽化した空調設備の更新や LED 照明への取替えなどについて、民間活力を活用する ESCO 事業を導入し効率的・効果的に実施します。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
事務の効率化	人件費縮減など効率的な業務の執行を図るため、開発審査会等の会議録作成において外部委託を行うなど、業務内容の再点検を行います。
事務内容の承継	事務のマニュアルを作成し、共有化を図るとともに、効率的な事務運営を図ります。

4. 予算編成・執行

- ◆事業の実施にあたっては、できる限り国の交付金等を活用し、財政負担の軽減に努めます。
- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得については、平成 29 年度の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら効率的に進めます。
- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、品質の向上とコスト低減をファシリティマネジメントの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。
- ◆国や大阪府の補助制度を活用し、市内の住宅・建築物の耐震化を促進します。

5. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部内会議等により、部の運営方針に基づく組織目標や課題事項について共通認識を図りながら、事業推進を図ります。
- ◆組織の目標達成と業務の円滑な遂行には職員の専門知識と経験が必要となることから、研修への参加と成果の共有化を図り、行政ニーズに的確に対応できる人材の育成に努めます。また、中堅職員がサポートしながら、OJT を通じ若手職員の育成に取り組みます。
- ◆災害時における二次的災害を未然に防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

- ◆住宅施策等に関し、国・府・UR等、様々な関係機関と情報の共有化や意見調整を図り、効果的な施策立案と効率的な業務執行を図ります。

6. 広報・情報発信

- ◆人が集まるまちづくりを進めるための都市政策に関し、その取り組み状況を市民の皆様と共有できるよう情報発信に努めます。
- ◆都市計画に係る説明会や都市計画変更の内容、よりよい景観形成をめざすための屋外広告物の規制等に関する取り組み、安全・安心なまちづくりを進めるための耐震化の必要性や補助制度など、きめ細かな情報発信を行います。
- ◆市民の皆様や枚方市の職員を志す学生などに、都市整備部の業務内容を広く知っていただくため、リーフレットを作成しホームページにも掲載します。